

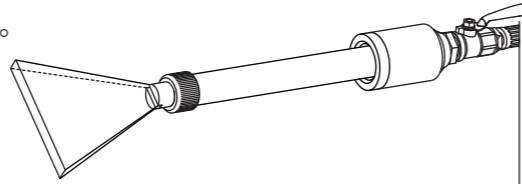


取扱説明書

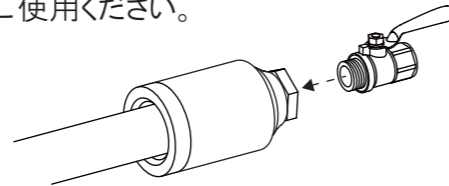
発泡ノズル AST-10

操作の説明

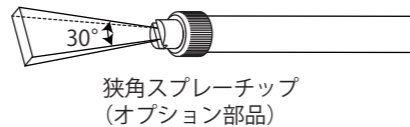
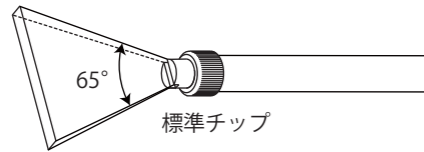
・ コックが開いたままでポンプを作動しますと、薬液が噴出しますので注意してください。



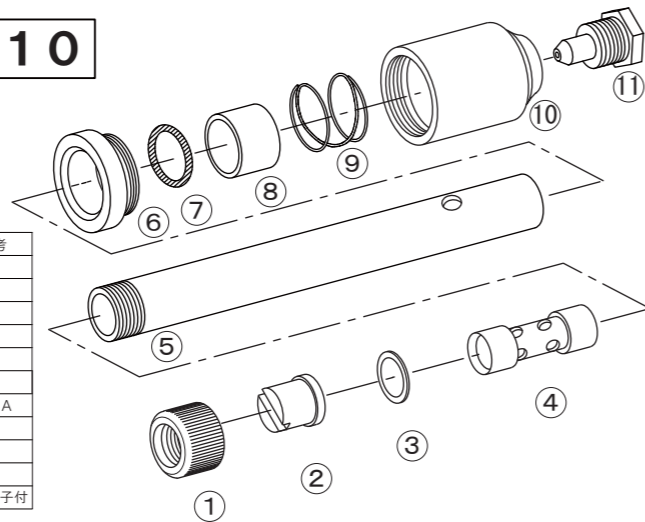
・ 本商品はバルブ機能がついていないので、φ8.5ハイタッチコック（別売）をつけてご使用ください。



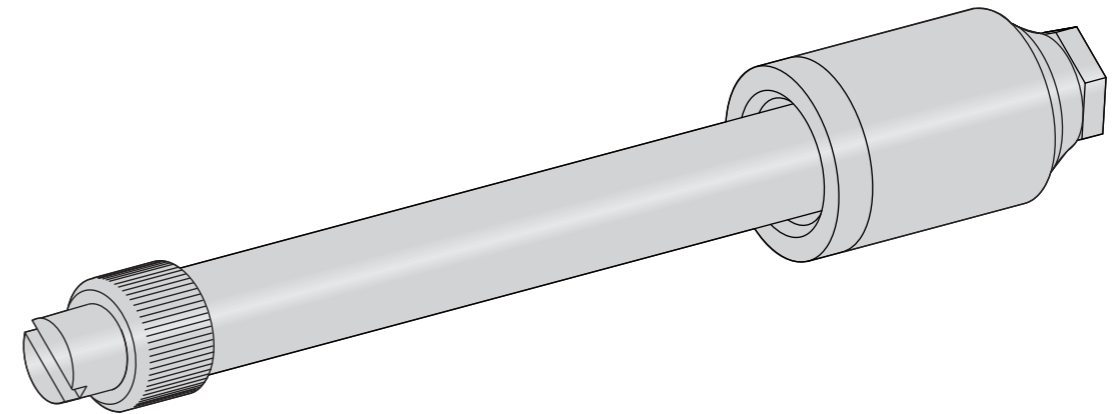
・ 標準チップとは別に狭角スプレーチップ（オプション部品）があります。



発泡ノズルAST-10



No.	コード番号	部品名称	個数	備考
1	1130902	キャップ	1	茶色
2	1130903	先ノズル	1	
3	1130904	先ノズル用パッキン	1	
4	1130905	発泡器	1	
5	1130906	メインパイプ	1	茶色
6	1130907	防滴筒キャップ	1	
7	1130908	Oリング	1	P-22A
8	1130909	Oリング押し	1	
9	1130910	防滴筒スプリング	1	
10	1130911	防滴筒	1	
11	1130912	元噴口（完）	1	元噴口中子付



製品名	発泡ノズル AST-10		
コードNo.	1130900		
全長	230mm	重量	236.6g
最高使用圧力	3.0MPa	取付ねじ	G1/4

性能表	
圧力 (2.0MPa)	
水量 (ℓ/min)	10.0
到達距離 (m)	4.0

噴霧動画



<http://www.nagataseisakusyo.co.jp>

製造元：株式会社永田製作所

記載内容の性能・仕様は改良の為、予告なく変更する場合があります。

pl.11309.201608

安全に正しくお使いいただくために

この度は弊社製 発泡ノズルAST-10をお買い上げいただきありがとうございます。
安全で快適な作業を行っていただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。なお、本書はいつでも内容が確認できるように大切に保管してください。

ご用意していただくもの

動力噴霧機（吸水量15 l/min以上）をご使用ください。
背負い式動力噴霧機及び高圧洗浄機はご使用になれません。

ホース→動噴用8.5mm スプレーホース

よりもどし→ホースのよじれを解消します。

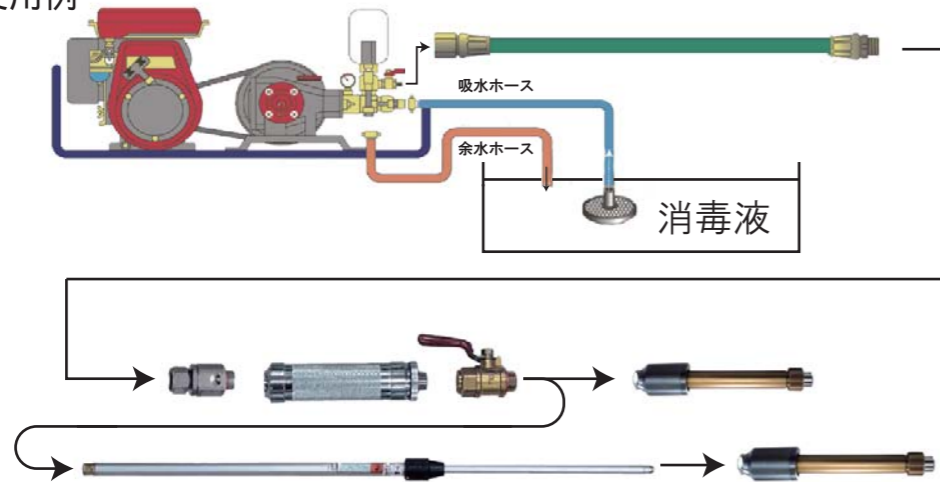
クリーナー→消毒液内のゴミを取り除きます。

ハイタッチコック→消毒液の散布の開閉を行います。

灌注竿→高所の散布には延長竿が便利です。

発泡ノズル

使用例



- ・ご使用になる薬剤の使用上の注意をよく読み正しく希釈してから使用してください。
- ・薬品の空容器は必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。容器を洗った水は薬害のない方法で処分してください。

警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
注意	人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれのある内容を示しています。

作業前点検準備



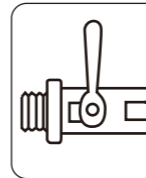
(1) 毎回作業前にはホース取付けねじのゆるみまたは、損傷異常箇所がないか点検のこと。

安全を期すためホース接続部の取付けねじの締め付けに異常がないか工具で点検し、ゆるんでいる場合は完全に締め付けてからご使用ください。

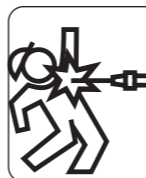
あわせて各部に損傷がないか、操作機能に異常がないか確認し、もしも異常があった場合は、お求めの販売店で完全に修理してください。不完全な状態のままご使用になりますと、事故の原因になりますので十分注意してください。

(2) ノズルのコックが完全に閉まっていることを確認のこと。

ポンプを運転する前には、ノズルのコックが完全に閉まっている状態が必ず確認してください。バルブが開いた状態のままポンプを作動しますと、ノズルがついたままホースごと振り回され大変危険です。



作業開始及び使用中の厳守事項



(1) ノズルの先端はいかなる時でも絶対に人や動物及び危険物には向けないこと。

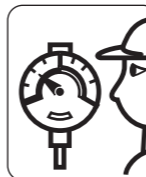
ポンプの作動時はノズル本体をしっかりと持ち、ポンプのバルブが閉まっているか確認し付近に人（特に子供）や動物がいないか、飛びだしの危険、又は危険物がないか、確認してください。

(2) 指定圧力以上での使用は絶対しないこと。

最高使用圧力以上で使用されますとシール部が損傷又は破損し事故の原因となる恐れがあり大変危険です。もしも、ご不明な点が、ありましたら販売店までお問い合わせください。

(3) ポンプの作動中はノズルの補修、放置をしないこと。

チップの目づまり、交換、接続の異常その他の補修は、必ずポンプを停止させたのちノズル本体のバルブを開き残圧を抜いて、ホースから外してから行ってください。なお、ポンプ作動中にノズルを放置しますと作業員以外の人が触ったり、又は機物等の接触によりバルブが開き薬液が噴霧する恐れがあり大変危険です。



作業終了後遵守事項



(1) 作業後はノズルの残圧処理を行うこと。

作業終了後はポンプを停止しても、ノズル及びホース内には使用中の薬液が残っています。必ずノズルの先端を前方下に向け、人や危険物がないか確認した後にポンプのバルブを開いて圧力を抜いてください。

(2) 作業後は速やかにノズルの洗浄を行うこと。

作業終了後ノズルを洗浄せずに長時間放置しておきますと薬剤が固着して、目づまり及び他の箇所の故障の原因になりますので十分注意してください。

(3) 運搬、保管、取扱上の注意をすること。

使用後はノズル内の薬液を抜くためホースから外してください。運搬保管に際しては下積にしたり、投げたり引きずったり他の目的には使用しないでください。寒冷地・冬季等では残水のまま放置しますと凍結破損をおこす恐れがありますので十分注意してください。なお、ノズルは子供の手の届かない屋内にて保管してください。

